

後期高齢者の皆さんへ 歯と口の健診

❖ 歯と口の健診って必要？

▶ 高齢になると、むせたり、喉につかえたりすることが多くなり、これが原因で肺炎を起こすことがあります。

また、むし歯や歯周病を放っておくと、糖尿病や腎臓病、脳卒中、心臓病など全身の病気に影響するといわれています。

全身の大きな病気にならないよう、毎年1回は後期高齢者の「**歯科口腔健診**」を受けましょう。

❖ だれが受けられる？

▶ 後期高齢者医療被保険者が対象です。

❖ いつ・どこで受けられる？

▶ 健診期間 平成30年8月1日から12月末日まで

▶ 健康医療期間



医療機関名	住 所	電話番号
田尻歯科医院	南関町関町1215-1	53-2145
原歯科クリニック	南関町関下1550-2	53-1117
大林歯科診療所	南関町上坂下18-2	53-8148
ふくち歯科医院	南関町上坂下3559-2	53-8005

※詳細は、受診券とあわせてお知らせします。

❖ 費用はいくらかかる？

▶ 400円（個人負担金）を受診する健診機関の窓口にお支払いください。

❖ 健診を受けるには？

▶ 保健センターへお申し込みください

※お申し込み者には、「歯科口腔健診＜受診券＞」をお送りします

問 保健センター ☎53-3298

がんサロン “なんかんとっば会”

がんに関する悩みや不安について話し合う交流会を、経験者を交えて開催します。

- 対象者 現在がん治療中の人およびその家族、がん体験者
- 開催日 8月26日回
- 時 間 午後1時30分～3時30分
- 会 場 南関町交流センター
- 参加費 無料



問 保健センター ☎53-3298 がんサロン代表：鶴 智二郎

「ダニ」にご注意ください

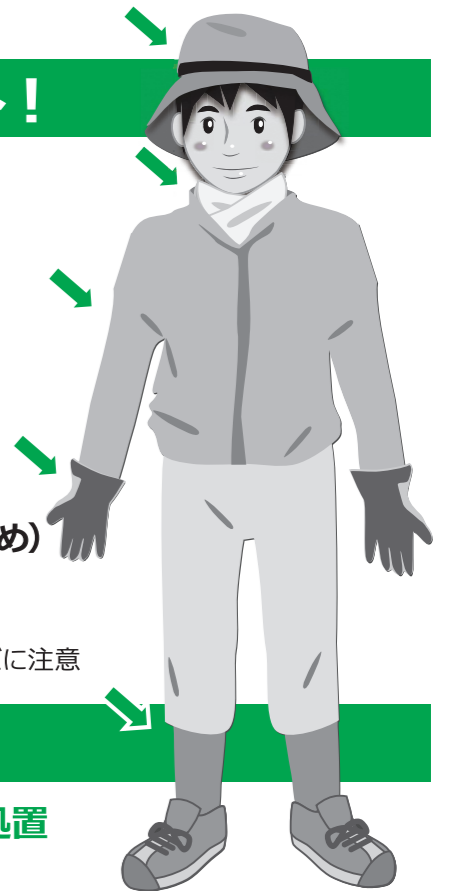
山や草むらでの野外活動のときは、ダニに注意しましょう

春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。

野山に生息するダニに咬まれることで重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などに感染することがあります。

ダニに咬まれないためのポイント！

- 肌の露出を少なくする
⇒ 帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻くなど
- 長袖・長ズボン・登山用スパッツなどを着用する
⇒ シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中
- 足を完全に覆う靴を履く
⇒ サングルなどは避ける
- 明るい色の服を着る（マダニを目視で確認しやすくするため）
* 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう
* 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしましょう
特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などに注意



ダニに咬まれたときの対処法

- 無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱などの症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。

【受診時に医師に伝えること】

① 野外活動の日付け、② 場所、③ 発症前の行動



ダニ媒介感染症（厚生労働省）

各地域のダニ媒介感染症の状況については各自自治体HPも参考にしてください